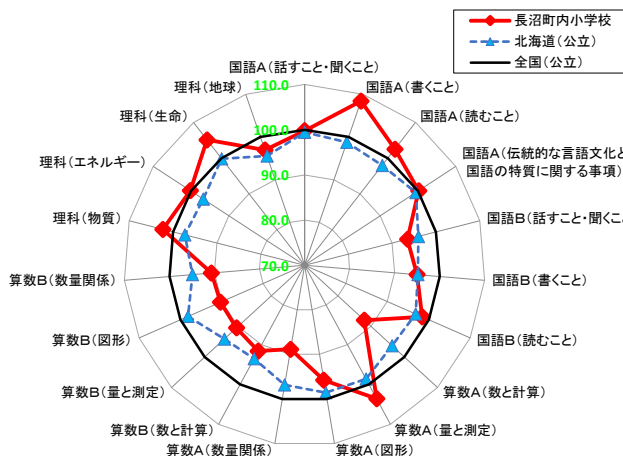


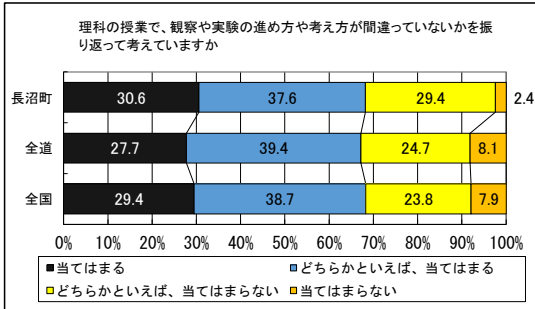
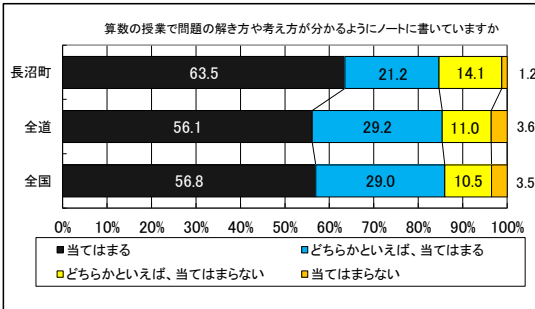
# ■長沼町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、児童数:85人)

## 【教科全体の状況】

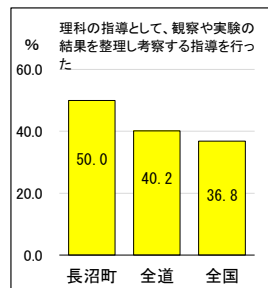
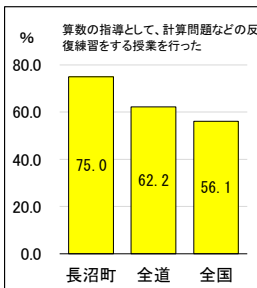
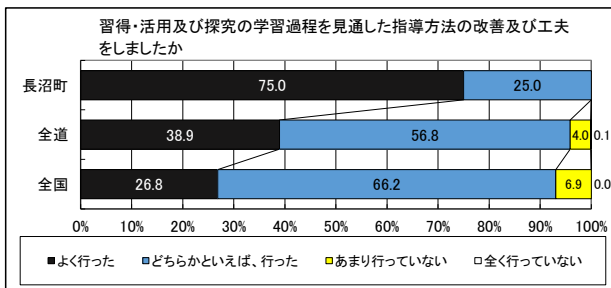
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



## 【児童質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語Aでは、「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。</li> <li>○ 算数Aでは、「量と測定」で全国を上回っている。</li> <li>○ 理科では、「物質」「エネルギー」「生命」で全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫を行った結果、日常の授業改善が図られ、国語Aで全国を上回ったと考えられる。</li> </ul>
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いています」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。</li> <li>○ 「理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 算数の指導として、計算問題などの反復練習を行った結果、問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いてある児童の割合が増え、前年度と比較して、算数A・Bで全国との差が縮まったと考えられる。</li> <li>○ 理科の指導として、観察や実験の結果を整理し考察する指導を行った結果、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返る児童が増え、理科で全国を上回ったと考えられる。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回った。</li> <li>○ 「算数の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> <li>○ 「理科の指導として、観察や実験の結果を整理し考察する指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	

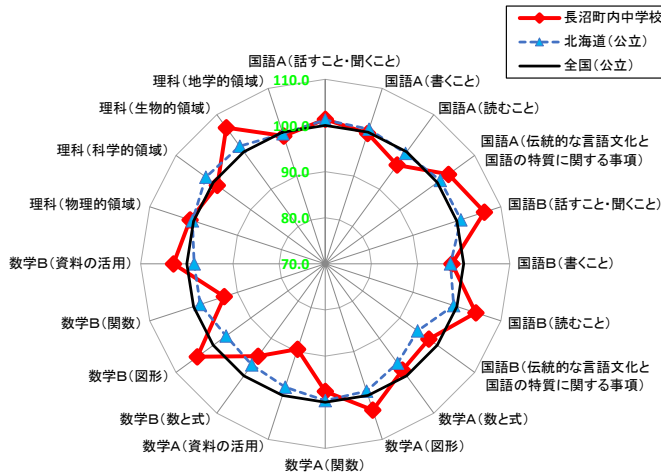
## 【長沼町の学力向上策】

- ◎ 「教育委員会・教育支援室」における各種調査結果の分析及び学力向上に向けた取組の推進
- ◎ 義務教育9年間を見通した学校間及び関係機関との連携支援の継続
- ◎ 教職員の指導力向上に向けた「授業(知・徳・体)改善推進事業」による授業改善の推進
- ◎ ICTを活用した学びの推進を図る「ICT環境整備計画」の策定
- ◎ 「教育研究協議会」における目的意識を明確にした多面的な教職員研修の推進
- ◎ 学校と地域が連携・協力した「放課後子ども教室」及び「土曜日の学習支援事業」の推進
- ◎ 学習機会の場としての「放課後児童クラブ」の有効活用
- ◎ 英語によるコミュニケーション能力育成に向けた外国語指導助手の増員・配置

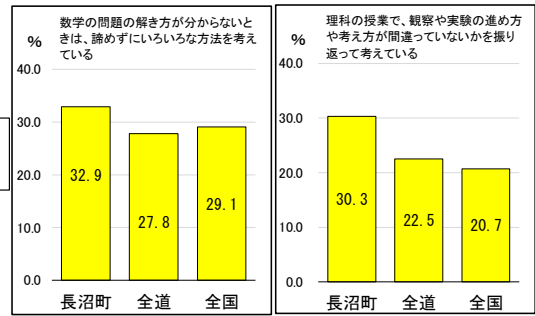
# ■長沼町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:77人)

## 【教科全体の状況】

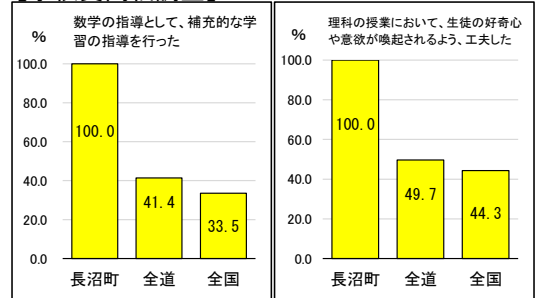
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



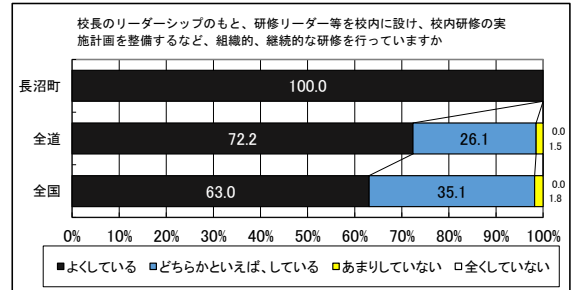
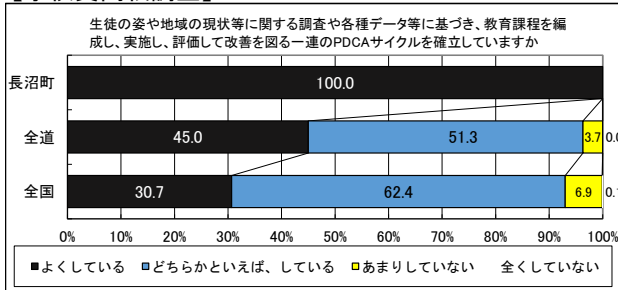
## 【生徒質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「話すこと・聞くこと」「読むこと」で全国を上回っている。</li> <li>○ 数学Aでは、「図形」、数学Bでは、「図形」「資料の活用」で全国を上回っている。</li> <li>○ 理科では、「物理的領域」「生物的領域」で全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種データ等に基づき、教育課程の改善を図る一連のPDCAサイクルを確立するとともに、校長のリーダーシップのもと、組織的、継続的な研修を行った結果、日常の授業改善が図られ、国語A・Bで全国を上回ったと考えられる。</li> </ul>
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。</li> <li>○ 「理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数学の指導として、補充的な学習の指導を行った結果、解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える生徒の割合が増え、数学Aの「図形」、Bの「図形」「資料の活用」で全国を上回ったと考えられる。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。</li> <li>○ 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っている。</li> <li>○ 数学の指導として、補充的な学習の指導を行った。</li> <li>○ 理科の授業において、生徒の好奇心や意欲が喚起されるよう工夫した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 理科の授業において、生徒の好奇心や意欲が喚起されるよう工夫した結果、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考える生徒の割合が増え、理科の「物理的領域」「生物的領域」で全国及び全道を上回ったと考えられる。</li> </ul>

## 【長沼町の学力向上策】

- ◎ 「教育委員会・教育支援室」における各種調査結果の分析及び学力向上に向けた取組の推進
- ◎ 義務教育9年間を見通した学校間及び関係機関との連携支援の継続
- ◎ 教職員の指導力向上に向けた「授業(知・徳・体)改善推進事業」による授業改善の推進
- ◎ ICTを活用した学びの推進を図る「ICT環境整備計画」の策定
- ◎ 「教育研究協議会」における目的意識を明確にした多面的な教職員研修の推進
- ◎ 小中連携小委員会における教育課題の共有と改善策の検討
- ◎ 英語によるコミュニケーション能力育成に向けた外国語指導助手の増員・配置